

2017年10月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

10月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害件数は35件で、2017の合計は、計346件となりました。

今月のコメント！

- ◎置き引きの被害が増加しています。バッグを足元や隣の席、棚などに置いている場合は狙われやすいので、可能な限り肌身離さず管理するよう十分注意してください。
- ◎渡航にあたっては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお勧めします。

【2017年10月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	1	6
ひったくり	1	20
スリ	21	209
置き引き	10	99
車上狙い	1	9
侵入盗(空き巣等)	0	1
偽警察官	1	1
その他の手口・不明	0	1
合計	35	346

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	0	7
6時台～9時台	3	28
10時台～13時台	12	82
14時台～17時台	11	105
18時台～21時台	5	88
22時台～23時台	4	21
不明	0	15
合計	35	346

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	7	45
火曜日	3	42
水曜日	3	42
木曜日	4	44
金曜日	4	48
土曜日	5	63
日曜日	9	60
不明	0	2
合計	35	346

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	21	207
週末・祝祭日	14	137
不明	0	2
合計	35	346

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
地下鉄車内・駅構内	7	92
RERのB線	2	14
上記以外の電車・駅構内	0	2
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	2	26
エッフェル塔界限	2	20
オペラ座界限	3	48
ルーブル・オルセー美術館界限	2	10
上記地区以外のレストラン・カフェ	0	13
上記地区以外のホテル	3	7
上記地区以外の路上	7	33
その他の場所・不明	6	32
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	1	18
レストラン・カフェ等	0	7
ホテル	0	1
路上	0	16
その他の場所・不明	0	7
合計	35	346

○性別区分	当該月	累計
男性	17	192
女性	18	154
合計	35	346

○年齢	当該月	累計
20歳未満	0	15
20歳代	5	83
30歳代	5	63
40歳代	6	49
50歳代	8	64
60歳代	5	44
70歳以上	3	23
不明	3	5
合計	35	346

○月別発生件数(2017年)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
29	36	42	30	33	39	46	30	26	35	0	0	346

【10月の被害例】

1. ノートルダム寺院裏の公園にて、8～10人の難民と思わしき集団に囲まれた。胸ポケットを掴まれたので、盗られないように押さえながら通り抜けたが、ウエストポーチが開けられており、旅券が盗まれていた。(男性旅行者)
2. 地下鉄東駅にて下車する際、前に立っていた黒人に詰め寄られ、バッグから旅券と携帯電話を抜き取られた。すぐに追いかけたが逃げられた。(男性出張者)
3. Porte de Pantin 駅構内にて、ツアーメンバー数人と一緒に添乗員から切符の買い方と路線図の読み方の説明を受けていた際、突然、黒人男性が突進してきて、被害者を引き倒し、首に掛けていたバッグをひたたくり走り去った。(女性旅行者)
4. ホテルのロビーにて座っていたところ、近くにいた男性がサングラスを落とし、拾って欲しいと頼まれた。拾っている隙に隣に座っていた女性にショルダーバッグを持って行かれた。(男性旅行者)
5. トロカデロ駅の改札付近にて、警察官と称する者が切符のチェックを行い、乗車時に何ら問題のなかったチケットを手渡したところ、エラーになっていると強い口調で言い、パスポートを取り上げ、罰金として150ユーロの支払いを言われた。言い争うも身の危険も感じたことから結局100ユーロを支払った。偽警官と思われる。(親子の旅行者)
6. 空港からタクシーでサンドニのホテルに向かう際、高速を降りて住宅街の中の道にさしかかり、信号で停車したところ、いきなり複数の少年が後部ドアの窓ガラスを割り、身乗り出して車内のカバンを強奪しようとした。カバンは盗られなかったものの顔面を負傷した。(男性出張者)
7. トロカデロ広場からエッフェル塔を撮影していた際、気づいたら、カバンがなくなっていた。(男性旅行者)
8. 北駅付近でスーツケースの上にハンドバッグを置き、行き先の確認をしていた際、気づいたらバッグが盗まれていた。(女性出張者)
9. オペラ駅付近を歩行中、若い2人の男性とぶつかった。その後、バッグから貴重品が盗まれていることに気づいた。(女性旅行者)
10. Anvers 駅からサクレール寺院に向かう際、いつの間にか背負っていたバッグのチャックが開いており、貴重品が盗まれていることに気づいた。(男性旅行者)